

【企業アンケート】採用基準は「厳しくする」「やや厳しくする」の回答が 27.1%で、

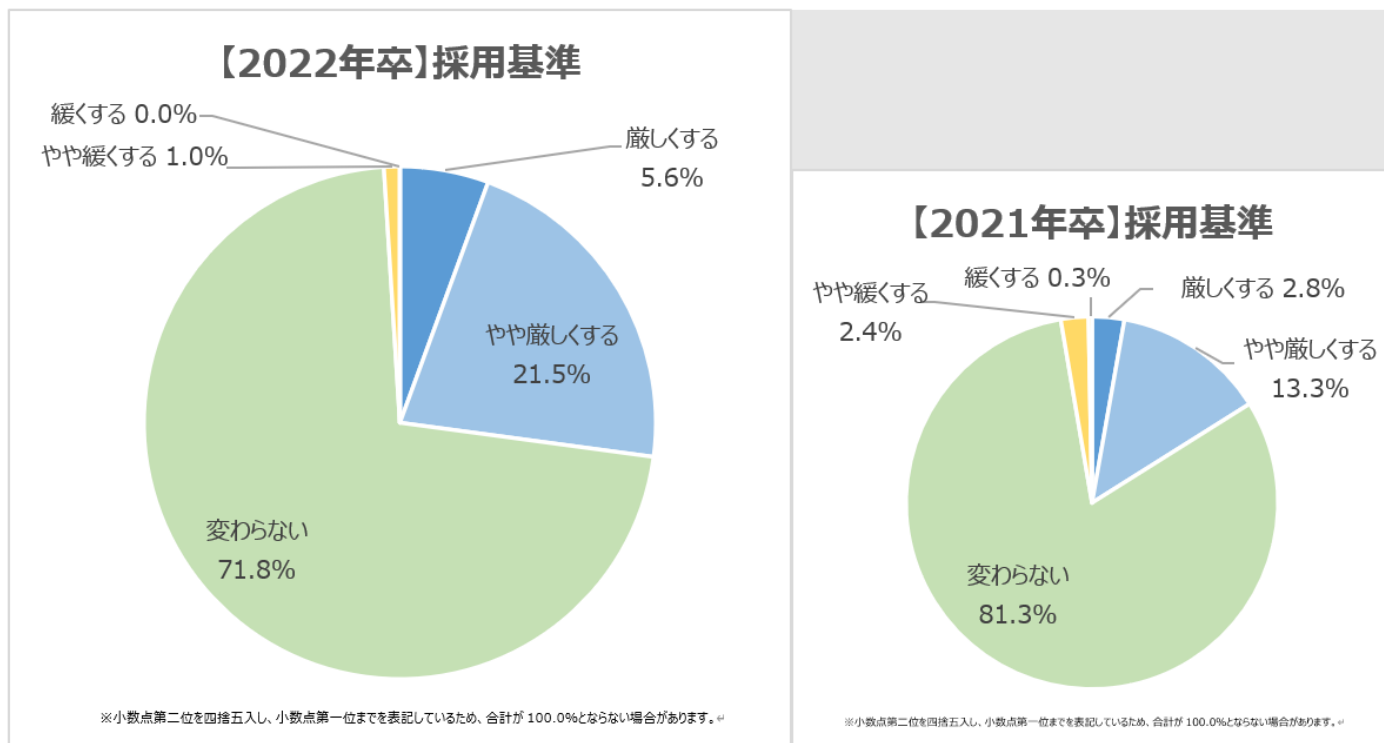
前年比 11.0 ポイント増加。73.0%の企業は、選考とインターンシップを連携。

株式会社学情は、「2022年卒採用の採用基準・採用予定」に関して、企業の人事担当者にアンケートを実施しました。採用基準については、「変わらない」が71.8%で最多。「厳しくする」「やや厳しくする」の回答は27.1%で、2021年卒採用（新型コロナウイルス感染拡大前の、2020年1月に調査を実施）比11.0ポイント増加しました。採用予定数に対する内々定出し数の割合は、「100%」が25.8%で最多でした。「141%以上」の内々定出しをするという回答は、2021年卒採用比で下回っており、内々定辞退を想定して、採用予定数の1.5倍や2倍の内々定出しをする企業は減少傾向にあるとかがえまます。また、73.0%の企業は、選考とインターンシップを連携させていることが明らかになりました。

【TOPICS】

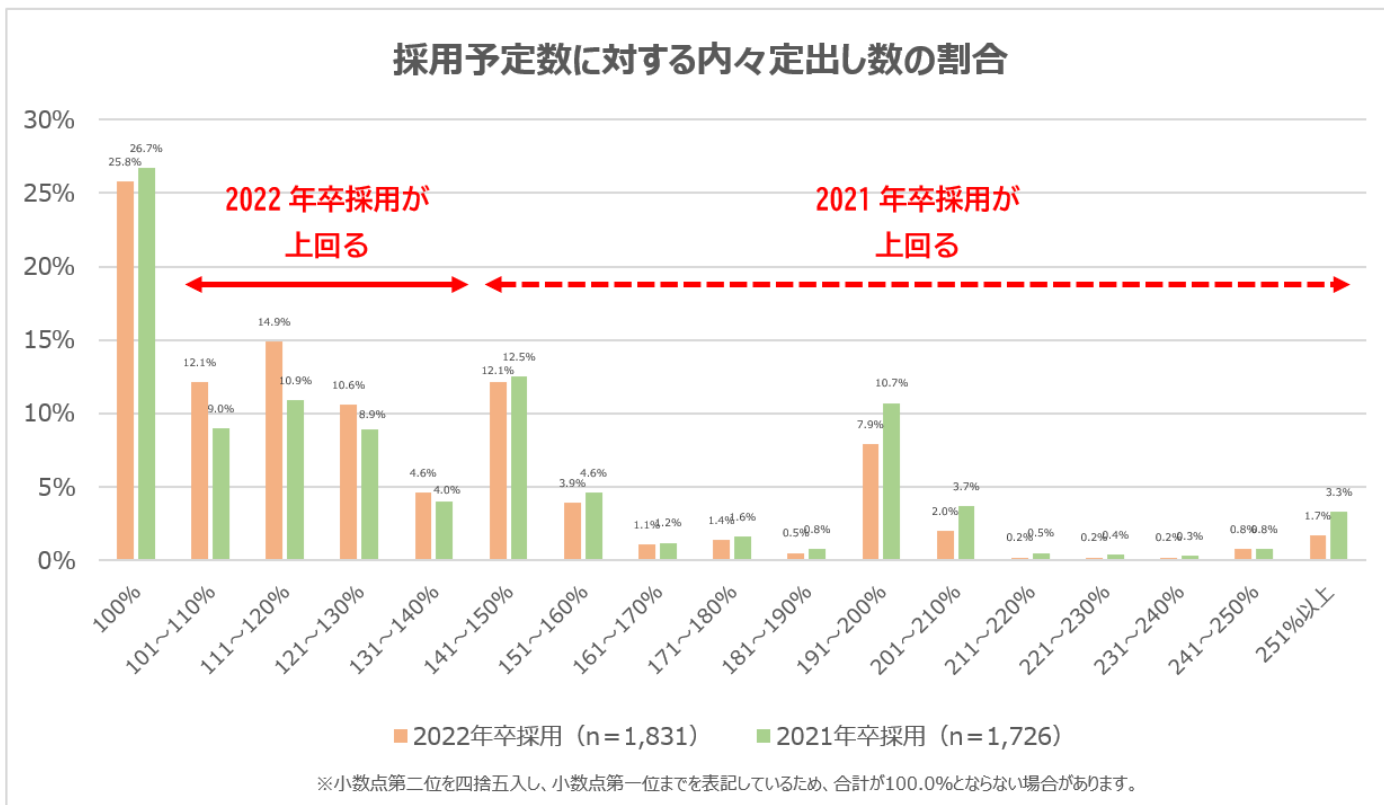
- (1) 採用基準は「厳しくする」「やや厳しくする」の回答が 27.1%で、2021年卒採用比 11.0ポイント増加
- (2) 採用予定数に対する内定出し数の割合は「100%」が 25.8%で最多
- (3) 選考とインターンシップを連携する企業は 73.0%に上る

- (1) 採用基準は「厳しくする」「やや厳しくする」の回答が 27.1%で、2021年卒採用比 11.0ポイント増加



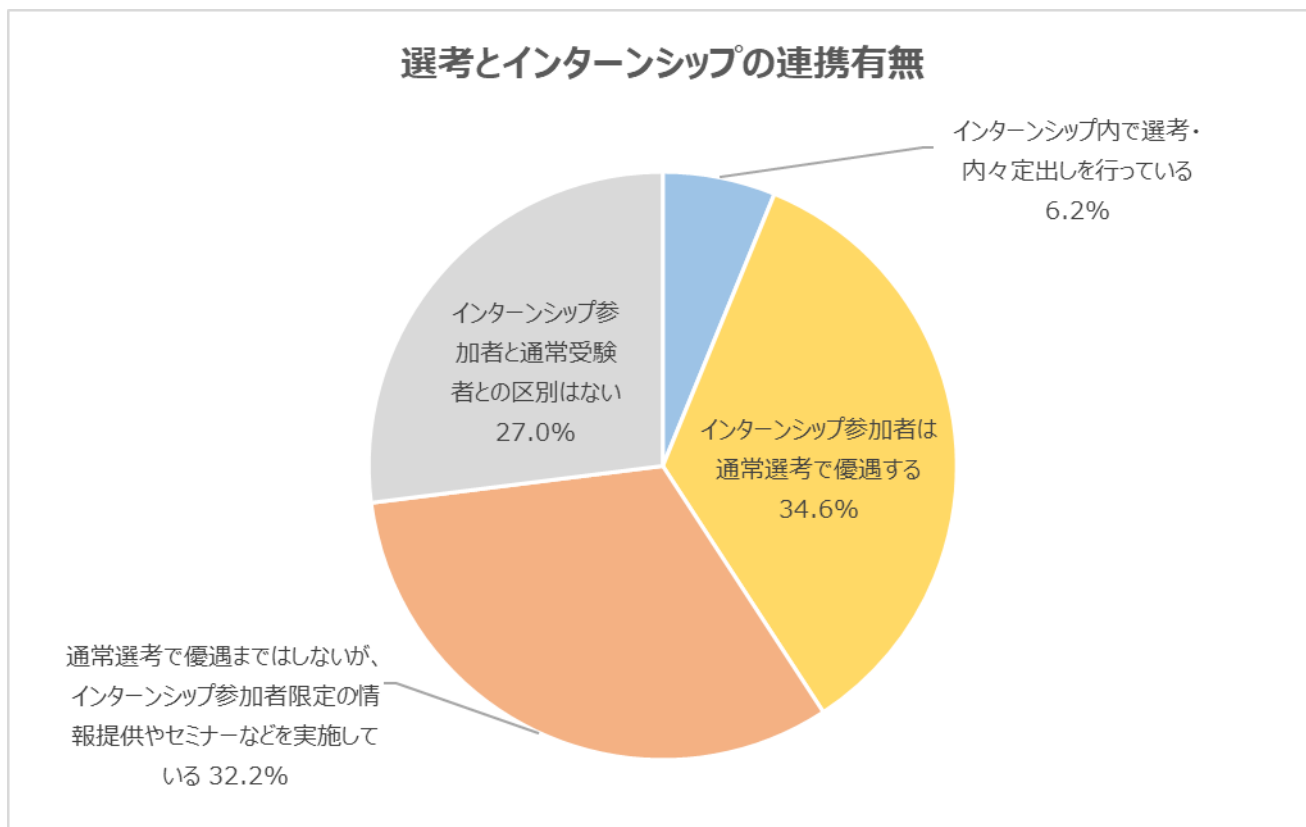
採用基準については、「変わらない」が71.8%で最多。「厳しくする」「やや厳しくする」の回答は27.1%で、2021年卒採用（新型コロナウイルス感染拡大前の、2020年1月に調査を実施）比11.0ポイント増加しました。採用基準に関しては、「2021年卒採用と同等」もしくは「厳しくする」という企業が大半を占めることが分かります。

(2) 採用予定数に対する内定出し数の割合は「100%」が 25.8%で最多



採用予定数に対する内々定出し数の割合は、「100%」が 25.8%で最多でした。「101~140%」と回答した企業の割合は、2022年卒採用が2021年卒採用を上回りました。一方、「141%~」は、2022年卒採用が2021年卒採用を下回っています。内定辞退を想定して、採用予定数よりも多く内々定出しをする傾向は続くものの、1.5倍や2.0倍など、大量に内々定を出す企業は減少傾向であることがあろうかと思われます。

(3) 選考とインターンシップを連携する企業は 73.0%に上る



選考とインターンシップの連携については、「インターンシップ内で選考・内々定出しを行っている」6.2%、「インターンシップ参加者は通常選考で優遇する」34.6%、「通常選考で優遇まではしないが、インターンシップ参加者限定の情報提供やセミナーなどを実施している」32.2%となりました。73.0%の企業は、選考とインターンシップを連携させていることが分かります。

■調査概要

- 調査対象：企業人事担当者
- 調査方法：Web 上でのアンケート
- 調査日：2021 年 1 月 5 日～1 月 31 日
- 有効回答数：2,394 件

東証一部上場

学情

